

みずほCustomer Desk Report 2016/04/08号(As of 2016/04/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.73	1.1399	125.11	0.9560	1.4130	0.7611
SYD-NY High	109.90	1.1454	125.27	0.9580	1.4156	0.7637
SYD-NY Low	107.67	1.1338	122.55	0.9522	1.4050	0.7490
NY 5:00 PM	108.19	1.1376	123.14	0.9560	1.4057	0.7504
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.95/13.37		△25RR	1.458	Yen Call Over	

	日本2年債	日本10年債	米国2年債	米国5年債	米国10年債	独10年債	英10年債	豪10年債
債券市場	-0.2400	▲1.1bp	-0.0520	0.6bp	0.6878	▲4.4bp	1.1367	▲6.1bp
	1.3280	▲5.3bp	1.6889	▲6.6bp	0.0890	▲3.0bp	2.4510	1.7bp

	USD/CNH	ドルインデックス
為替市況	6.4865	0.0043
	94.51	0.08

	CRB指数	NY金	WTI	Dubai Spot
商品市況	166.838	▲0.69	1,237.500	13.70
			37.260	▲0.49
			35.97	1.05

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月7日	8:50	日 対内及び対外証券投資	4/1週分	-
	9:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-
	9:30	日 黒田日銀総裁、全国支店長会議挨拶	-	-
	16:00	日 コンスタンシオECB副総裁、議会証言	-	-
	17:04	中 外貨準備高	3月	\$3212.6B
	20:30	欧 ECB理事会、議事要旨公表	3/10分	\$3196.0B
	21:30	米 新規失業保険申請件数	4/2週分	267K
	22:30	米 IMF世界経済見通し公表	-	270K
4月8日	6:30	米 イエレンFRB議長、討論会	-	-

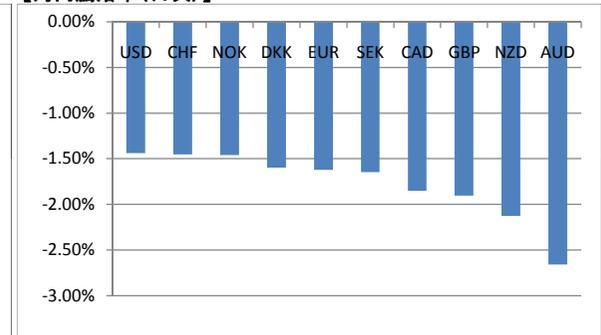
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月8日	8:50	日 経常収支	2月 ¥2032.3B	¥520.8B
	8:50	日 貿易収支	2月 ¥429.7B	¥411.0B
	15:00	日 景気ウォッチャー調査現状/先行き	3月 45.5/48.3	44.6/48.2
	15:00	独 経常収支	2月 16.5B	13.2B
	15:00	独 貿易収支	2月 18.0B	13.4B
	15:00	独 輸出/輸入	2月 0.5%/-0.3%	-0.6%/1.3%
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.1%/0.0%	0.3%/0.2%
	21:30	加 失業率/雇用ネット変化率	3月 7.3%/10.0K	7.3%/-2.3K
	23:00	米 卸売在庫(前月比)	2月 -0.2%	0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のドル円は109.73レベルでオープン。日本当局による円高けん制も意識されるものの、マーケットは介入困難との見方が優勢で、投機筋を中心にドル円は下値追いの展開となる。オープン後には「財務省幹部直近の為替市場は偏った動き」とのヘッドラインに反応し、ドル円は高値109.90まで急騰する場面も見られたが、110円台を回復できず上げ幅も限定的となると再びドル売りが強まり、2014年10月31日のハロウィン緩和時の安値109.17に迫る。その後109.17の安値を更新し、109円丁度を手前に神経質な値動きが続くが、午後に入り109円丁度を割り込むと、109円台後半のストップスを巻き込みながら108.77まで下落。引けにかけても、ドル円は上値重い展開が続き、結局108.91レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は下落。108.91レベルでオープン後、ドル円へのサポート材料が特段見当たらない中、東京時間の流れを引き継ぎ108.02まで下げ幅を拡大。その後は利益確定などから買い戻され、108.54レベルでNYに渡った。ユーロドルは下落。ユーロドルは1.1415レベルでオープン後、ロンドン寄り後にはユーロドルの上昇につれ高となり一時1.1454まで買い進まれる。しかし、ECBのコンスタンシオ副総裁の「引き続き行動することに前向き」やプラート理事の「逆風の強さに応じて刺激策を調整することができる」など、複数のECB当局者から追加緩和に積極的なコメントが発せられたことを背景にユーロ売りが優勢となり1.1360まで低下。その後は小幅買い戻されるも上値重く、1.1370レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は108.54レベルでオープン。朝方、新規失業保険申請件数が予想を若干下回るもドル円の反応は限定的。その後、軟調なダウ平均先物が下げ幅を拡大させる動きに円買戻しが強まり、2014年の10月末以来となる108円割れを示現し107.90まで下落する。その後は「ジョットカー」から108円台を回復する局面もあったものの、米金利が一段と低下する中ドル売りが優勢となり、107.67まで下落する。その後再び「ジョットカー」が強まり、一時108.44まで戻すものの上値は重く、終盤に掛けては狭いレンジでの値動きが続き、108.19レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.14台では売り意欲は強いものの海外市場でドル売りが優勢となったことから1.1454まで上昇したが、プラートECB専務理事が追加緩和の景気刺激策は可能と発言したことから1.1360まで反落し、1.3670レベルでNYオープン。朝方はユーロ円が下落する動きにユーロドルも連れて1.1338まで下落するが、その後は米金利低下を受けたドル売りに1.1399まで戻す。午後はドル買い戻しが強まったことから1.1361まで反落する。終盤に掛けては狭いレンジでの開散な値動きが続き、1.1376レベルでクロスした。(NY00531 113 680井上)

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.00-108.70	1.1340-1.1450	122.50-124.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場ドル円相場は、2014年10月以来1年5カ月ぶりに107円台へ下落した。前日のFOMC議事要旨を受けた米利上げ観測の後退に加え、政府・日銀が円売り介入を実施できない思惑が市場で広がり、東京市場からドル円は軟調に推移し109円台後半から108円台半ばまで下落。一部、本邦要人から円高牽制発言があったものの、円高の流れは止まらず欧州時間に107円台後半へ続落。米州時間もその流れを引き継ぎ上値の重い展開となった。本日のドル円相場は、軟調な地合いを予想。市場の注目材料に変化はなく、108円台ではドル売り優勢の展開となるであろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。